■ IT

* IT：通信とコンピューターを駆使する情報技術
* ICT：人とインターネット、人と人が繋がる技術。（SNS、通信販売、ネット検索など）
* IoT：人を使わず自動的にインターネットに繋がること。（自動運転、スマート家電など）

■ OS

* OS：アプリやデバイスを動作させるための基本となるソフトウェア。
* Windows：マイクロソフト社が開発したOS
* macOS (Mac OS X)：Macに搭載されているMacを動かすためのOS
* UNIX：現存する最も古いOS。Macなど様々なOSの土台となっている。
* Linux：UNIXを改良して作ったもの。オープンソースであり無料で使える。

■ 言語・環境

* マークアップ／フロントエンド：webサイトを作成する時に使用するhtmlという言語でサイト内の文章に意味付けしていく作業のこと。(見出し、リストなど)
  + HTML：webページにある文字がHTML。HTMLタグによって文字に意味を与えることができる。
  + CSS：文字を装飾するもの。HTMLと組み合わせて使う。
  + JavaScript：webページに置いて複雑な機能をできるようにするプログラミング言語。
* サーバーサイド：サーバー上で動くもの。サーバーサード（側）
  + .NET（C#, VB）：開発環境を指す単語。ウィンドウズのシステムやwebサービスなどの開発に利用される。
  + Java：プログラミング言語の1つ。多くの現場で使われ、凡用的であり、OSに依存しない。
    - Java SE：javaの基本機能をまとめたもの
    - Java EE（Jakarta EE）：javaSEを元にしてサーバーサイドの機能を追加したもの「javaSE+拡張機能」
  + Perl：プログラム言語の1つ。テキスト処理やファイル処理に重点をおいたもの。
  + PHP：プログラミング言語の1つ。HTMLに埋め込むことができるため、Web開発でよく利用される言語。
  + Ruby：プログラミング言語の1つ。凡庸性が高い、自由度が高い、記述量が少ないなどの特徴がある。

■ サーバーソフト

* Apache：世界中で最も使用されているサーバーソフト。サーバー機能を提供しているソフトウェア。
* Nginx：世界で2番目に利用されているサーバーソフト。高速、大容量処理が得意、設定が容易という特徴がある。
* IIS：マイクロソフト社が提供している、Windowsのwebサーバーソフト。

■ SQL

* SQL：データーベース言語の1つで、データーベースの定義や操作を行う事ができる。規格が標準化されており、一度学習すれば他のデーターベースでもほぼ同じように使える。
  + DB2：IBMが開発・販売するデーターベース管理システムの一つ。基幹系のシステム構築を支える重要な基盤。
  + MySQL：世界中の多くの企業が使用しているデータベース管理システム。WordPressやCMCでほぼ確実に使われている。
    - Maria DB：MySQLから派生したオープンソース・リレーショナルデータベース。拡張性、処理性能、高品質が評価されている。
  + Oracle DB：オクラル社が開発、販売しているリレーショナル・データベース
  + PostgreSQL：オープンソースのリレーショナルデータベース管理システムである。
  + SQLite：オープンソースのデータベースであり、組み込み用途や、小規模システムのデータストアとして利用されている。
  + SQL Server：マイクロソフト社のデータベース。操作性が簡単。
* CRUD：データを操作する際に必要な最低限の機能。「登録機能」「参照機能」「変更機能」「削除機能」の4つをまとめた表現。
* トランザクション：結果の整合性が要求される、複数の処理を1つにまとめたもの。ただし、これら「複数の処理」は分離させることができない。実行した結果は成功か失敗かのいずれか。
  + コミット：トランザクションを確定させる処理。1度commitした結果は元に戻すことができない。
  + ロールバック：トランザクションを取り消す処理。ROLLBACKした場合、データベースはトランザクション開始前の状態に戻ります。
* 排他制御（排他ロック）：ファイルへの書き込みが行われている間は別のプログラムによる書き込みを禁止するという制御。ある主体が資源を利用している間、別の主体による資源の利用を制限、もしくは禁止する仕組み。
  + 楽観ロック：滅多なことでは他社との同時更新は起きないであろう、という楽観的な前提の排他制御。データそのものにはロックを行わず、更新対象のデータがデータ取得時と同じ状態であることを確認してから更新することで、データの整合性を保証する。
  + 悲観ロック：他者が同じデータに頻繁に変更を加えるだろう、という悲観的な前提の排他制御。更新対象のデータを取得する際にロックを掛けることで他のトランザクションから更新されないようにする方式。
* 実行計画：SQLを実行するための計画。より短い時間でSQLを実行できるか計算して導き出された、具体的な方法を計画としてまとめたもの。
* チューニング：いい感じに調整すること。通信の状態が良くなるように電波状況を調節したり、たくさんのデータを処理するためにプログラムの作りを見直したりすること。
* パフォーマンス：性能、もしくは現在の頑張り具合を表している。
* スロークエリ：データベースにおいて、時間のかかっているSQL（遅いSQL）のことを指す。
* クエリログ：MySQLサーバーが実行したすべてのSQLクエリを出力するログ。接続した時間、接続元ユーザー。実行したSQLを出力。
* IDE（統合開発環境）：プログラミングをする際に必要なソフトウェアを統合して、1つの画面で操作できるようにしたもの。プログラミングをより快適に行うソフト。必要なソフトウェアが統合された開発環境。
  + Eclipse：統合開発環境の代表格。多くの言語に対応できることが特徴。
  + NetBeans：統合開発環境の一つ。Webアプリケーションを開発するのに便利。
  + SpringToolSuite：統合開発環境の1つ。Springに特化している。
* DBツール：データベース管理タスクに使用できるツール。
  + A5:SQL Mk-2：データベース開発において生産性を向上させるべく開発されたSQL開発ツールです。
  + pgAdmin：PostgreSQLの管理ツール。
  + DBeaver：「DBeaver Corp」が開発したマルチプラットフォーム対応の SQL クライアントツール。対応している DB は MySQL, PostgreSQL, SQLite, Oracle, MariaDB, Amazon Redshift など殆どの DB に対応しています
  + MySQL Workbench：MySQL Workbenchとは、MySQLの公式サイトにてMySQL Serverと共に配布されている、データベースの設計・開発・管理を一本で実現している無料ツール。
  + Sequel Pro：Macユーザーにとって無料で使えるＭｙＳＱＬデータ管理ソフト。
  + TeamSQL：完全無料を謳っているDBをGUI（マウスや指で操作できる画面）を管理するためのソフトウェア。

■ 肩書

* PM：プロジェクトマネージャー。プロジェクトの全行程に関わる。
* PL：プロジェクトリーダー。
* PG（PE）：プログラマ。SEが作成した設計書に沿ってプログラミングを行う人。
* SE：システムエンジニア。
* デザイナー：デザインをする人
* エンジニア：工学に関する知識やスキルを持った人材
  + フロントエンド・エンジニア：ユーザーが画面越しに触れる部分、フロントエンドの設計や構築を行う人。
  + サーバーサイド・エンジニア：裏側のシステムを開発するエンジニア。サーバー側で動作するプログラムの開発やデータの処理などを行う。
  + バックエンド・エンジニア：裏側のシステムを開発するエンジニア。サーバーエンドエンジニアよりも幅広くプログラムの開発からwebサーバー、データベースといった環境整備まで行う。

■ UI（ユーザーインターフェース）

* UI：ユーザーと製品、サービスの接触面。サイトのデザインの部分。
  + CUI：UIの文字の部分。代表的なものにコマンドプロンプトがあり、コマンドを入力してやり取りする。
  + GUI：グラフィカルな画面。Windowsのホーム画面のようにマウスや指で操作できる画面。

■ ファイル／ディレクトリ

* ファイル：データの管理単位の1つ。データを記録する際に利用者やOSから見て最小の記録単位となるデータのまとまり。
* 拡張子：ファイルの種類や形式を表すために利用者やソフトウェアによって付与されるもの。「新しいテキストドキュメント.txt」など
* ディレクトリ：ファイルシステムなどで複数のファイルを格納し、ファイルを分類整理することができる保管場所。
  + ルート・ディレクトリ：木構造のようになっているディレクトリの最上位。
  + カレント・ディレクトリ：木構造担っているディレクトリの中で「今どこにいるのか」を表している。
* パス：道筋などを表す単語。コンピュータ内で特定の資源の所在を表す文字列のこと。ディレクトリを最上位から順に並べて記したもの。
  + 絶対パス：パスの表記法の一つ。現在の位置からは無関係に、ドライブやシステムの最上位ディレクトリから目的のディレクトリやファイルまでの道筋を省略なくすべて記述する方式
  + 相対パス：自分が今いるところを基準にして表現したファイルやフォルダの場所

■ ネットワーク

* LAN：ローカルネットワークの略。家庭内や社内などのプライベートネットワークのこと。
* WAN：地理的に離れた地点を無数通信ネットワーク。LANと対比される言葉。
* クライアント：サービスを使う側のコンピュータ。お客様。依頼主。
* サーバー：クライアントに提供する側のコンピューターを指す。データを提供する側。

■ 各種プロトコル

* HTTP：通信するときに使うお約束事（通信プロトコル）の1つ。ホームページのファイルを受け渡しするときに使うお約束事。
* FTP：インターネットの線を使ってファイルを送受信する仕組みの1つ。送受信するときのお約束事（通信プロトコル）の1つであり、ファイルの送受信に関するお約束事である。
* HTTPS：HTPPとSLLが合体した姿。通信するときに使うお約束ごとの1つ。インターネットで暗号化通信をやるときに使うお約束事。
* SSL：通信プロトコルの1つ。インターネット上でやり取りする情報を暗号化して送受信するための仕組み。
* SSH：通信が暗号化されるtelnet（他のコンピュータを遠隔操作するための仕組み）
* ポート、ポート番号：TCP/IP通信においてコンピュータが通信に使用するプログラムを識別するための番号。
* HTTP、FTP、SSHの各ポート番号：HTTP/80番。FTP/21番。SSH/22番
* ファイアウォール：企業などの内部ネットワークをインターネットを通じて侵入してくる不正なアクセスから守るための「防火壁」
* TCP：通信プロトコルの1つ。安全面を重視するやり方である。

■ IPアドレス

* IPアドレス：インターネット上に接続されたコンピューターが持つナンバーの事。インターネット上の住所。
  + グローバルIPアドレス：IPアドレスの枯渇問題により、LANとWANに接続する機器に割り当てられたもの。
  + プライベートIPアドレス：LANなどの企業内ネットワークに存在する端末が、自由に使用できるIPアドレスのこと。他のネットワークでは同じプライベートアドレスが使用されている可能性がある。

■ ドメイン

* ドメイン：インターネット上の住所のことで、webサイトがどこにあるかを判別する情報として利用できる。
* DNS：インターネット上でドメイン名を管理・運営するために開発されたシステム。
* VPN：仮想専用線。インターネット上に仮想的なプライベートネットワークを使ってデータをやり取りする技術。
* ブリッジ：ネットワーク中のデータの中にあるMACアドレス（ネットワーク機器に割り当てられた住所）を見て、行き先を振り分けてくれる機器
* プロキシサーバー：代理提供。Webブラウザの代わりにサーバーからページをもらう。

■ 電子メール

* SMTP：通信プロトコルの1つで、メールを送信に関する約束事。
* POP：通信プロトコルの1つ。メール受信にかんする約束事。自分の使っているメールサーバーに届いたメールを自分のパソコンにコピーしてきて見るときに使うお約束事。
* IMAP：通信プロトコルの1つ。メールをメールサーバー上で見るやり方で使う約束事。

■ セッションとクッキー

* セッション：接続を開始してから切断するまでの一連の通信のこと。例えばログインしてからログアウトするまで
* クッキー：ホームページを訪問したユーザーを一時的に保存する仕組み。Webサーバーがwebブラウザに渡すメモ。
* キャッシュ：データを一時的に保存することでデータの処理速度を早める考え方仕組み。よく使うデータを取りやすいところに準備しておく仕組み。

■ DB（データベース）について

* インデックス：検索をらくするための仕組み。

■ テストについて

* フロー：なにかの流れの事。

■ チケット管理ツール

* タスク：コンピューターが処理する最小限の単位の事。

■ バージョン管理

* Git：オープンソースの分散バージョン管理システム。複数の開発者が共同で1つのソフトウェアを開発する際に用いられる。
* SVN：オープンソースのバージョン管理システム。ファイルの変更履歴を管理してくれるシステムの1つ。
* デグレ：以前の状態より悪くなること。
* マージツール：何かと何かを合体させる。